

令和8年（2026）5月
入域観光客数概況（確定版）

83万8,100人
対前年（R7）同月比 ▲4,500人、▲0.5%
～5月としては過去2番目～

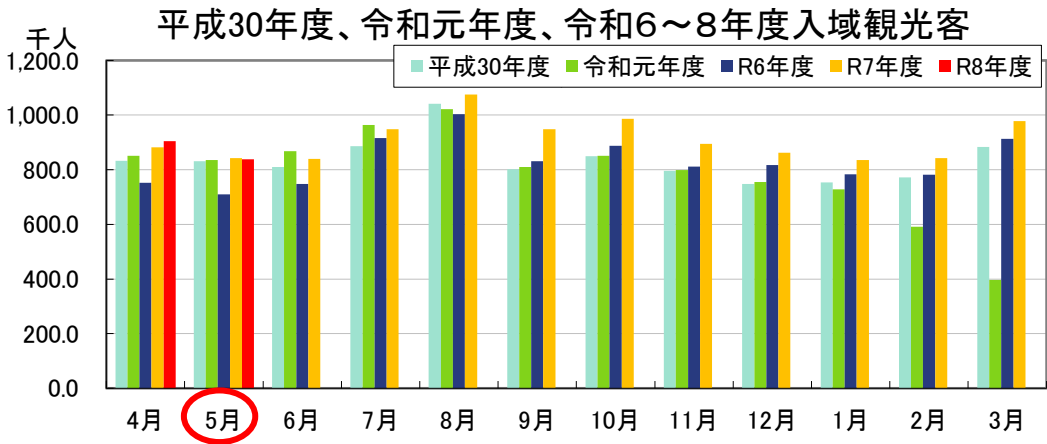
【更新履歴】①令和8年6月25日速報版公表
②令和8年8月25日確定版公表
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、8月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。
③国内空路のうち、ソラシドエアの5/19～5/31の実績について、速報では未計上であったため、本確定版にて反映しております。

入域状況

入域観光客数（R7年度と※R元年度との比較）

区分	R8年度	R7年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
国内客	617,800 人	601,000 人	+ 16,800 人	+ 2.8%	73.7%	566,500人
空路	613,200 人	588,300 人	+ 24,900 人	+ 4.2%	73.2%	556,300人
海路	4,600 人	12,700 人	△ 8,100 人	△ 63.8%	0.5%	10,200人
外国客	220,300 人	241,600 人	△ 21,300 人	△ 8.8%	26.3%	268,400人
空路	190,400 人	166,700 人	+ 23,700 人	+ 14.2%	22.7%	162,300人
海路	29,900 人	74,900 人	△ 45,000 人	△ 60.1%	3.6%	106,100人
合計	838,100 人	842,600 人	△ 4,500 人	△ 0.5%	100.0%	834,900人

※外国客には、海路における乗務員等11,300人を含む。



国内客 入域状況

5月は、ゴールデンウィークの旅行需要を見込んだ航空会社の増便・臨時便があったことから、前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R8年度	R7年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	294,000 人	281,100 人	+ 12,900 人	+ 4.6%	47.6%
関西方面	137,500 人	137,300 人	+ 200 人	+ 0.1%	22.3%
福岡方面	75,700 人	73,500 人	+ 2,200 人	+ 3.0%	12.3%
名古屋	53,700 人	49,200 人	+ 4,500 人	+ 9.1%	8.7%
その他	56,900 人	59,900 人	△ 3,000 人	△ 5.0%	9.2%
合計	617,800 人	601,000 人	+ 16,800 人	+ 2.8%	100.0%

参考:国内線経由入域外国人数

地域別	R8年度		R7年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	27,300	48%	20,500	43%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	15,100	27%	12,000	25%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	6,200	11%	6,800	14%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	1,900	3%	1,400	3%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	400	1%	400	1%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	6,000	10%	6,200	13%	
合計	56,900	100%	47,300	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出(推計方法が異なるため、年度比較に留意)。
※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

5月は、引き続き台湾路線の需要が好調であったものの、クルーズ船の寄港回数が減少したこと等から、前年同月を下回った。
なお、台湾・韓国からの観光客は過去最多を記録したものの、外国客総数としては過去4番目の記録となった。

- トピック ▶【台湾】スターラックス航空は下地島ー台中路線(8月22日～9月26日)および下地島ー台北路線(9月4日～19日)を週5往復に増便予定。また、タイガーエア台湾は石垣ー高雄路線(9月2日～)を週2便で新規就航予定。
- トピック ▶【韓国】イースター航空は那覇ー仁川路線(9月22日～10月12日)を1日2往復に増便予定。

外国客 国籍別入域状況

区分	R8年度	R7年度	増減数	増減率	構成比
台湾	107,700 人	88,500 人	+ 19,200 人	+21.7%	48.9%
韓国	57,700 人	55,200 人	+ 2,500 人	+4.5%	26.2%
中国本土	6,400 人	40,300 人	△ 33,900 人	△84.1%	2.9%
香港	17,100 人	13,900 人	+ 3,200 人	+23.0%	7.8%
アメリカ	3,800 人	4,100 人	△ 300 人	△7.3%	1.7%
タイ	2,300 人	2,000 人	+ 300 人	+15.0%	1.0%
シンガポール	2,500 人	2,400 人	+ 100 人	+4.2%	1.1%
その他	22,800 人	35,200 人	△ 12,400 人	△35.2%	10.3%
合計	220,300 人	241,600 人	△ 21,300 人	△8.8%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等11,300人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R8年度	R7年度	増減率	構成比	R8年度	R7年度	増減率	構成比
台湾	93,500 人	73,400 人	+27.4%	49.1%	14,200 人	15,100 人	△6.0%	47.5%
韓国	57,600 人	50,700 人	+13.6%	30.3%	100 人	4,500 人	△97.8%	0.3%
中国本土	6,200 人	15,900 人	△61.0%	3.3%	200 人	24,400 人	△99.2%	0.7%
香港	15,700 人	13,000 人	+20.8%	8.2%	1,400 人	900 人	+55.6%	4.7%
アメリカ	3,100 人	2,400 人	+29.2%	1.6%	700 人	1,700 人	△58.8%	2.3%
タイ	2,200 人	2,000 人	+10.0%	1.2%	100 人	0 人	皆増	0.3%
シンガポール	2,400 人	2,300 人	+4.3%	1.3%	100 人	100 人	+0.0%	0.3%
その他	9,700 人	7,000 人	+38.6%	5.1%	13,100 人	28,200 人	△53.5%	43.8%
合計	190,400 人	166,700 人	+14.2%	100.0%	29,900 人	74,900 人	△60.1%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等11,300人を含む。

